

広島県知的障害者福祉協会 令和5年度事業報告

はじめに

新型コロナウイルス感染症の発症から早4年が過ぎ、この間、医学の力や医療従事者の方々の努力を経て、令和5年5月より、感染症法上、季節性インフルエンザと同じ5類感染症へ変更する方針が示され、新型コロナ対策は大きな転換点を迎える。しかし、感染症に対する配慮は変わらず求められる今、ウイズ・アフターコロナにおける障害者の地域生活における予防・防止対策等の基盤整備の推進が、必要と感じており、更なる前進を願う。

地域共生社会が謳われる今、各地域においては感染対策だけでなく、あらゆる角度から我々の支援力が期待されている。特に、良質な障害福祉サービス、障害児支援の確保、地域生活支援事業等の拡充など、個々のニーズに応じた、特色あるサービス提供体制の整備が図られることを期待する。

また、共生社会の推進に向けた取り組みの方向性として、障害者虐待防止法、並びに障害者差別解消法の理念の周知徹底、及び啓発にも取り組む必要がある。「心のバリアフリー」の充実、障害者の地域移行や地域生活の支援等が示されるとともに、施設としては、職員が心身共に疲弊して孤立することなく、充実感や誇りを抱いて働ける環境作りや、職員研修の更なる推進と心の健康管理の強化等による職場環境の改善は急務である。この1年、本協会としても、各種の情報提供を行うとともに、会員相互の連携を図りながら、真摯に対応していかねばならない。

そして、これらの状況を把握した上で、支援部会活動と業務部会活動の連携を図りながら、各種の課題検討、研修計画、政策提言などを積極的、効果的に実施することが必要とされている。

施設や地域で生活している障害（特に知的障害、発達障害）のある人たちの尊厳が守られ、豊かな生活が送れるよう、確固たる倫理観を持って支援にあたりるとともに、会員相互に協力し合いながら、知的障害福祉の推進に努めなければならない。

1. 基本方針

すべての本協会会員が、共通理解の下、連携した活動を通して、個々の必須課題として意識し、能動的に参加し、利用者、地域、行政などにとっての本協会の有用性を高める為に、以下の活動を基本とする。

- (1) 障害の有無にかかわらず、誰もが暮らしやすい共生社会の実現を目指して、地域社会全体の思いが繋がり合う環境作りに貢献する。
- (2) 本協会への積極的な加入を促進し、活動基盤の強化を図る。
- (3) すべての会員が本協会への帰属感が持てるように、活動内容や活動

方法について、配慮を行う。

- (4) 障害福祉理念や関係施策、更には障害福祉を取り巻く社会情勢などについて、意欲的に研鑽する場を設ける。
- (5) 支援の対象である人たちのニーズや思い、そして地域の人々の障害福祉についての意識や意向、また、新たな障害福祉の必要性について把握し、認識するように努める。(実態調査やニーズ調査など)
- (6) 人材確保に向けて、広島県福祉・介護人材確保等総合支援協議会活動に積極的に参画する。
- (7) 支援に携わる人材(職員)の資質(専門性と意識)の向上と職場定着を図るための効果的な対策等の検討を行う。
- (8) 個々の会員の経営課題等の改善に資する情報交換、人材交流、相互協力を促進する。
- (9) 社会福祉法人における地域貢献、経営改善、人材確保、県行政への要望等について、広島県社会福祉協議会をはじめとして、関係諸団体との連携の下に、対応策等の検討を行う。
- (10) 平成30年7月西日本豪雨災害の教訓として、県内の社会福祉施設間において「災害時における安心を共に支え合う相互協力体制(広島さっそくネット)」及び「広島県公衆衛生チーム」並びに「広島県障害福祉支援ネットワーク構築推進事業(DWAT)」に向けての協働態勢構築への協力を図る。
- (11) 本協会会員は、(公財)日本知的障害者福祉協会の定款及び会員準則等を遵守しなければならない。

2. 重点課題

- (1) 第34回全国グループホーム等研修会中国地区大会 in ひろしまの主管業務にあたる。
- (2) 人材確保にむけて、「魅力ある福祉・介護職場宣言」に参画する。
- (3) 障害者虐待防止や身体拘束等の適正化の更なる推進、並びに感染症や災害への対応力の強化と人員基準における両立支援への配慮等を図るため、他団体との連携協力を図りながら、各種の研修等を企画・実施する。
- (4) 「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援に関する法律(障害者虐待防止法)」並びに「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」の理念を周知徹底し、併せて啓発に向けた各種の研修等を他団体との連携協力を図りながら、企画・実施する。
- (5) 障害者のスポーツ・文化芸術への参画・協力をする。
 - ① あいサポートアート展開催にむけて、協力・参加する。
 - ② あいサポートふれあいコンサート開催にむけて、企画・実施する。

- ③広島県パラスポーツ協会主催事業への参画・協力をする。
- ④広島県知的障害者ソフトボール協会活動に参画・協力をする。
- (6) 各市町において、障害者の孤立や重症化並びに自身の高齢化に伴う「親亡き後」を見据えた、居住支援のための機能をもつ場所や体制をめざす地域生活支援体制の推進に積極的に関与する。
- (7) 各種の養成研修(サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者、相談支援従事者研修、強度行動障害支援者養成研修及び各種国研など)へのグループリーダー等の派遣に協力すると共に、障害福祉サービスの「質の向上」や障害福祉従事者としての遣り甲斐感・充実感が得られることを目的に、広島県身体障害者施設協議会、広島県精神障害者支援事業所連絡会、広島県障害者相談支援事業連絡協議会、広島県障害児・者地域療育等支援事業連絡協議会等と連携・協力を図りながら各種の研修会の立案・参画・協力する。
- (8) 令和5年度における本協会主催、若しくは本協会支援部会・業務部会主催の各種研修会については、成功裡に迎えらるよう、会員相互の協力を図る。
- (9) 支援部会、業務部会の活動の活性化を図るために、それぞれに委員を登用し、幅広い人材の参画により協会活動を充実させる。
- (10) 本協会の事業が確実に実施され、成果を上げるように、適時適切に、その事業の進行管理を行い、必要に応じて会員相互の協力態勢の構築や事業計画の再検討などの善後策を講じる。
- (11) 令和5年度税制改正大綱における電子帳簿保存法の電子保存義務化に向けた研修等を図る。
- (12) 本協会の活動に関係深い関係団体等とは、従来に引き続き連携を図る。
 - ①広島県社会福祉協議会
 - ②広島県身体障がい者施設協議会
 - ③広島県精神障害者支援事業所連絡会
 - ④広島県障害者相談支援事業連絡協議会
 - ⑤広島県障害児・者地域療育等支援事業連絡協議会
 - ⑥広島県手をつなぐ育成会
 - ⑦広島県障害者スポーツ協会
 - ⑧広島県社会福祉法人経営者協議会
 - ⑨広島県災害時公衆衛生チーム
 - ⑩広島県就労振興センター
 - ⑪広島県発達障害者支援センター
 - ⑫広島県知的障害者ソフトボール協会
 - ⑬業種別代表者会議(加盟14団体)
 (①、②、⑧以外に県内の老人福祉連盟、児童養護施設協議会、

母子生活支援施設協議会、乳児院協議会、保育連盟など)

⑭その他

なお、本協会主催の研修会等において、他団体等にも共通する内容のものについては、参加人数の余裕のある場合には参加を呼びかける。

3. 事業

(1) 総会・役員会等の開催

① 総会

開催年月日	会場	主な議事	出席状況
1 令和5年5月26日	広島ガーデンパレス	(1)令和4年度事業報告について (2)令和4年度収支決算について	出席 89人 委任 70人
2 令和6年3月14日	広島ガーデンパレス	(1)令和5年度収支補正予算(案)について (2)令和6年度事業計画(案)について (3)令和6年度収支予算(案)について (4)役員改選(案)について	出席 86人 委任 83人

② 役員会

開催年月日	会場	主な議事	出席状況
1 令和5年4月20日	広島県社会福祉会館	(1)令和4年度事業報告・収支決算について (2)令和5年度第1回総会の開催について (3)第34回全国グループホーム等研修会の広島県開催について (4)部会報告 (5)その他	20人
2 令和5年6月7日	広島県社会福祉会館	(1)中国・四国地区知的障害関係施設職員研究協議会アンケート調査について (2)「福祉・介護サービス事業所に対する物価高騰への支援拡充」に関する要望書の提出報告について (3)(一社)広島県手をつなぐ育成会からの推薦依頼について (4)令和5年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰の推薦依頼について	20人

			(5)第 34 回全国グループホーム等研修会 の広島県開催について (6)各部会報告 (7)その他	
3	令和 5 年 8 月 2 日	広島県社会福祉 会館	(1)令和 6 年度広島県社会福祉制度及び 予算に伴う要望事項について (2)第 34 回全国グループホーム等研修 会の広島県開催について (3)中国地区知的障害者福祉協会第 2 回 会長会議の報告 (4)各部会報告 (5)その他	20 人
4	令和 5 年 9 月 26 日	広島市南区民 文化センター	(1)令和 5 年度第 1 回広島県福祉・介護 人材確保等総合支援協議会の報告 (2)緊急時の応援に係るコーディネート 機能の確保等業務(新型コロナ感染職員 応援派遣)について (3)令和 5 年度広島県サービス管理責任 者及び児童発達支援管理責任者基礎研 修の実施に係る演習ファシリテーター の推薦について (4)第 34 回全国グループホーム等研修会 について (5)西山元副会長の叙勲伝達について (6)各部会報告 (7)その他	21 人
5	令和 5 年 11 月 10 日	広島市南区地域 福祉センター	(1)全国会長会議 (10/25・26) の報告に ついて (2)第 34 回全国グループホーム等研修会 の報告について (3)度第 1 回広島さっそくネットシミュ レーション訓練結果の報告について (4)第 5 次広島県障害者プラン策定に係 るヒアリング調査について (5)本会のインボイス制度に関する対応 について (6)各部会報告 (7)その他	13 人

6	令和6年1月9日	広島県社会福祉会館	(1)令和5年度本会収支予算書の執行率について (2)令和5年度各部会事業計画作成について (3)次期役員について (4)令和5年度第2回総会の開催について (5)2024年度「愛護福祉賞」及び「日本知的障害者福祉協会会長賞」について (6)各部会報告 (7)その他	19人
7	令和6年2月22日	広島市南区地域福祉センター	(1)日本知的障害者福祉協会緊急全国会長会議（能登半島地震）の報告 (2)令和5年度中国地区知的障害者福祉協会会長会議及び中国・四国地区知的障害者福祉協会会長会議の報告 (3)本会における令和6年能登半島地震義捐金の取りまとめ状況報告 (4)令和5年度補正予算（案）及び令和6年度事業計画・収支予算（案）について (5)次期役員について (6)令和5年度第2回総会及び令和6年度第1回総会の開催について (7)各部会報告 (8)その他	19人

③ 監事会

期 日：令和5年4月20日

会 場：広島県社会福祉会館

内 容：(1)令和4年度事業報告並びに収支決算について
(2)その他

出席者：会長、監事3人、事務局2人

④ 予算・政策要望活動

広島県社会福祉協議会社会福祉制度・予算対策委員会への参画

⑤ 各種研修等ファシリテーター推薦依頼派遣状況

推薦依頼団体一覧：

ア)広島県知的障害者福祉協会(略称:知福協)

イ)広島県障害児(者)地域療育等支援事業連絡協議会(略称:療育等)
(広島県知的障害者福祉協会児童発達支援支援部会)

ウ)広島県身体障がい者施設協議会

- エ)広島県精神障害者支援事業所連絡会
- オ)広島県就労振興センター
- カ)広島県障害者相談支援事業連絡協議会

	【西部地区】		【中部地区】		【東部地区】		合計人数
	事業所	人数	事業所	人数	事業所	人数	
(1)相談支援従事者初任者研修(推薦依頼数:知福協6人 療育等5人)							
広島会場(5日間)	2か所	2人	3か所	4人			計. 11人
福山会場(5日間)					5か所	5人	
(2)相談支援従事者現任研修(推薦派遣数:知福協5人 療育等4人)							
Web①(3日間)	1か所	1人	3か所	3人	1か所	1人	計. 9人
Web②(3日間)	2か所	2人	1か所	1人	1か所	1人	
(3)相談支援主任研修(推薦依頼なし)							
(4)サビ管及び児発管責任者研修基礎研修(推薦依頼数:知福協6人 療育等5人)							
広島会場(2日間)	2か所	2人	2か所	2人	2か所	2人	計. 11人
広島会場(2日間)	2か所	2人			3か所	3人	
福山会場(2日間)	他団体より推薦派遣申し出が多数のため、0人						
(5)サビ管及び児発管責任者研修実践研修(推薦依頼数:知福協12人 療育等12人)							
Web①(2日間)	2か所	2人	7か所	7人	3か所	3人	計. 24人
Web②(2日間)			5か所	6人	6か所	6人	
(6)サビ管及び児発管責任者更新研修(推薦依頼数:知福協13人 療育等12人)							
Web①(2日間)	2か所	2人	4か所	4人	2か所	2人	計. 25人
Web②(2日間)	2か所	2人	3か所	3人	4か所	4人	
Web③(2日間)	2か所	2人	2か所	2人	4か所	4人	
(7)サビ管及び児発管責任者専門別研修(推薦依頼なし)							

- (2) 各支援部会の開催
 - [児童発達支援部会]
 - [障害者支援施設部会]
 - [日中活動支援部会]
 - [生産活動・就労支援部会]
 - [地域支援部会]
 - [相談支援部会]
 - [支援スタッフ部会]
- (3) 各業務部会の開催
 - [政策・調査・研究部会]
 - [人権・倫理部会]
 - [人材育成・研修部会]
 - [事業部会]
 - [総務部会]

- (4) 第 52 回中国地区知的障害関係施設長会議の実施
 令和 5 年 4 月 27 日 (木)・28 日 (金)
 鳥取県立倉吉未来中心、ホテルセントパレス倉吉
- (5) 令和 5 年度全国知的障害関係施設長等会議への参加
 対面とオンデマンド配信によるハイブリッド開催
 対面：令和 5 年 7 月 13 日 (木)・14 日 (金)
 東京国際フォーラム
 オンデマンド配信：令和 5 年 8 月 7 日 (月)～21 日 (月)
- (6) 第 62 回中国・四国地区知的障害関係職員研究協議会への参加
 令和 5 年 7 月 20 日 (木)・21 日 (金)
 岡山コンベンションセンター ママカリフォーラム
- (7) 第 59 回全国知的障害福祉関係職員研究大会への参加
 対面と動画配信による開催
 対面：令和 5 年 11 月 16 日 (木)～17 日 (金)
 ハイランドリゾートホテル&スパ (山梨県)
 動画配信：令和 6 年 1 月 22 日 (月)～3 月 29 日 (金)
- (8) 第 34 回全国グループホーム等研修会中国地区大会 in ひろしまの実施
 令和 5 年 10 月 3 日 (火)・4 日 (水)
 広島国際会議場
- (9) 第 17 回広島県障害者陸上競技大会開催事業の実施
 令和 5 年 5 月 14 日 (日)
 東広島運動公園
- (10) 第 60 回中国地区知的障害関係施設親善球技大会への参加
 令和 5 年 9 月 24 日 (日)
 山口県維新百年記念公園ほか
- (11) 特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」ソフト
 ボール競技中国・四国地区予選会への参加 **【優勝】**
 令和 5 年 5 月 27 日 (土)・28 日 (日)
 丸亀土器川公園 ソフトボール場 (香川県)
- (12) 特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」への参
 加 ソフトボール (知的) 競技 **【第 3 位】**
 令和 5 年 10 月 28 日 (土)～30 日 (月)
 南九州市知覧平和公園多目的球場
- (13) 第 48 回広島県知的障害者福祉大会 (本人大会)
 第 21 回はつらつ大会本人大会 (本人大会)
 令和 5 年 10 月 22 日 (日)
 広島県立びんご運動公園アリーナ

- (14) (公財) 日本知的障害者福祉協会主催
「第10回全国小・中学生障がい福祉作文コンクール」募集協力
応募数：小学校【1校1作品】中学校【1校1作品】
- (15) 県内3地区親善行事（西部・中部・東部）球技大会の開催
西部：令和5年6月4日（日） 広島修道大学
中部・東部：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- (16) (公財) 日本知的障害者福祉協会主催における各支援部会の全国・
地区会議・大会等への参加
- (17) 広島県知的障害者福祉協会 総会及び施設長会議の開催
令和5年5月26日（金） 広島ガーデンパレス
令和6年3月14日（木） 広島ガーデンパレス
- (18) あいサポート・ふれあいコンサート in ひろしまの開催
令和5年9月24日（日）
マエダハウジング安佐南区民文化センター
- (19) あいサポート アート展への参画・協力
令和5年10月31日（火）～11月5日（日） 広島県立美術館
令和5年11月28日（火）～12月3日（日） ふくやま美術館
- (20) 「広島さっそくネット」シミュレーション訓練の参加
第1回：令和5年9月6日
第2回：令和6年3月4日
- (21) 広島県災害福祉支援ネットワーク構築推進事業（広島 DWAT）への参画

4. 総括

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に位置づけられたことから、アフター/ウイズコロナの観点より、それぞれの支援部会並びに事業部会が積極的な活動を開始して頂いたことを感謝申し上げます。

とりわけ、第34回全国グループホーム等研修会が、地域支援部会を中心に活動し盛会のうちに終えることが出来た。加えて、各種の養成研修（サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者、相談支援従事者研修、強度行動障害支援者養成研修及び各種国研修など）へのグループリーダー並びにファシリテーターの派遣についても、各事業所において積極的にご協力を頂いたことを、感謝申し上げます。

一昨年3月に構築された「広島県災害派遣福祉チーム（広島 DWAT）」が、この度の能登半島地震対応として機能を果たし、各施設から積極的なご協力を頂き、御礼申し上げます。今後も「広島さっそくネット」との重層的なネットワークが、有事の際に有効に活動できるようご協力をお願いする。

最後に、能登半島地震義捐金に多くの浄財をお寄せ頂き、感謝申し上げます。

支援部会

■児童発達支援部会

方針：乳幼児期、学齢期、青年前期における切れ目のない支援と保健、医療、保育、教育、就労支援等と連携した地域支援体制を図る観点から、個々の課題やその家族の状況及びニーズに応じて、障害児支援等の質の向上を図ることを目指す。併せて、障害児のサービス提供体制の計画的な構築（基本指針見直しポイント）に向けて、ここ3年コロナ禍のため実施できなかった通所支援・入所支援に応じた対面研修会等を実施し、多様な施設機能の充実や職員の専門性の向上を図る。また障害児相談支援の充実に向けて、各種の検討協議を行う。

通所支援分科会

方針：通所支援（①児童発達支援、②居宅訪問型児童発達支援、③放課後等デイサービス、④保育所等訪問支援）事業の実施に支え得る専門性の向上に向けて、各種の情報交換や研修会を企画・実施する。

具体的には、児童発達支援センターの機能強化と地域の体制整備・インクルージョンの推進にむけて、①支援の質の保障 ②家族支援の重要性 ③保育所等との併行通園に係る支援及び保育所等訪問支援の充実 ④学校との連携について ⑤保護者の就労支援等について、⑥医療的ケア児への支援等、⑦児童発達支援センター機能強化事業など各種の情報交換を行う。

併せて、障害児相談支援における事業体制の整備協力、質の保障、相談スキルの向上等について、相談支援事業所における各種の検討協議を行う。

入所支援分科会

方針：入所支援・通所支援（①児童発達支援、②放課後等デイサービス）事業の実施に支え得る専門性の向上に向けて、各種の情報交換や研修会を企画・実施する。また、障害児入所支援から大人にふさわしい環境への円滑な移行推進に向けて、県および市町、教育機関、相談支援事業所等と連携を図り、移行調整に取り組む。併せて、地域の支援ニーズを踏まえた障害児支援の提供体制の確保について検討協議を行う。

具体的には、①一定の目的を持った短期入所（有期限・有目的）について ②強度行動障害を有する児童への対応強化について ③社会的養護の必要な障害児への対応 ④小規模入所における課題について、⑤過齢児の成人サービスへの移行について、⑥県における新たな移行調整・自立支援等に向けて検討協議する。

実施：1. 各種会議及び研修会

(1) 第1回施設長会議の開催

時期：令和5年5月19日

会場：TKP 福山ちゅうぎんビル会議室

参加者：16人

内容：①報告事項

(i) 令和4年度事業報告及び決算について

②協議事項

(i) 今年度の事業について

(ii) 情報交換

(2) 令和5年度広島県知的障害者福祉協会児童発達支援部会職員研修会

※中国・四国地区幼児通園施設長連絡協議会共催事業

時期：令和5年度8月9日

会場：広島ガーデンパレス

内容：Web 講義「脅威に負けない組織作り」

事業継続計画（BCP）策定の基礎知識

～障害児支援事業所におけるBCP策定について～

講師：ミネルヴァベリタス株式会社

代表取締役 松井裕一朗 氏

参加者：12人（福祉協会関係）その他30人

(3) 第2回施設長会議の開催

時期：令和5年9月5日

会議室：TKP 福山ちゅうぎんビル会議室

参加者：22人

内容：①第28回中国児童施設分科会施設長会議・職員研修会について

②児童発達支援部会地区代表者会議報告

③令和6年度報酬改定に関する意見等について

④令和6年度県予算要望（案）について

⑤入所施設からの移行調整について

(4) 2023（令和5）年度第28回中国地区知的障害者福祉協会

発達支援部会児童施設分科会施設長会議・職員研修会並びに

広島県知的障害者福祉協会児童発達支援部会職員研修会

時期：令和5年11月7日・8日

会場：広島県民文化センターふくやま、まなびの館ローズコム

福山ニューキャッスルホテル

参加者：86人

内容：【11月7日】

AM：中国地区児童施設分科会施設長会議

PM：研修会

①中央情勢報告

②記念講演

紀平凱旋ミニコンサート

③情報交換会

【11月8日】

①講演会「愛着障害と発達障害の理解と支援」

講師：米澤 好史 氏

(5) 第3回施設長会議の開催

時期：令和5年12月28日 Web開催

参加者：18人

内容：日本知的障害者福祉協会第3回児童発達支援部会会議報告

①令和6年度障害福祉サービス報酬改定等について

(6) 第4回施設長会議の開催

時期：令和6年1月23日

会場：広島県社会福祉会館

参加者：16人

内容：①令和6年度事業計画及び予算（案）について

②役員改選について

③サービス管理責任者等研修制度の変更点について

④就職フェアについて

⑤支援スタッフ部会について

(7) 実態調査

児童発達支援センター等機能強化事業（旧障害児・者地域療育等支援事業）についての実態調査を実施し、報告書100部を作成。

(8) 乳幼児支援施設就職説明会打ち合わせ会

時期：令和6年2月27日

参加者：4団体8人

会場：広島県社会福祉会館

内容：令和6年度乳児・幼児・児童支援施設就職説明会開催について

事業総括

昨年5月に、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に位置づけられ
事から、コロナ前の事業活動を少しずつ再開することが出来た。とりわけ、
入所施設においては、5年に一度の中国地区施設長会議並びに職員研修会を盛
会のうちに実施することが出来た。また、事業継続（BCP）計画に向けた研修
会を開催し、有意義な内容となり、来年度の実施に向けた準備に役立つこと
ができた。

■障害者支援施設部会

方針：第7期障害福祉計画並びに障害者総合支援法改正法 施工後3年の見直しに向けて、調査、準備が進んでいる。大きな柱としては、地域での共生社会の整備、「障害者の居住支援について」の検討から、GHと一体的な議論が進む。

意思決定支援に向けた取り組み、虐待防止や身体拘束の廃止に向けた課題には真摯に取り組まなければならない。障害者支援施設の役割として、強度行動障害を有する方への対応、重度高齢化する健康管理の在り方等については、様々な課題がある。また、新型コロナウイルス感染症の3年間を振り返り、感染症法5類を迎えるにあたり、支援施設としてのリスクと社会生活の推進両面をどのように進めていくかは部会全体で共有し、実行していきたい。これらを達成していくための人材確保と育成について、施設長会等で議論を重ねたい。

1. 支援施設部会施設長会議

【第1回】通常会議

時 期：令和5年6月21日

内 容：①令和4年度 事業報告 決算承認の報告
②研修会の企画内容の確認
③障害者支援施設部会 全国大会 概要説明

開催方法：対面（広島市南区民文化センター）

出席者：27人/40人

【第2回】障害者支援施設全国大会 広島大会 第1回 実行委員会

時 期：令和5年9月11日

内 容：①全国大会概要説明
②スケジュール、概算予算の確認
③役割毎の顔合わせ 初回協議

開催方法：対面（広島市南区地域福祉センター）

出席者：31人/40人

【第3回】通常会議 全国大会 第2回 実行委員会

時 期：令和5年2月8日

内 容：①令和6年度 事業計画（案） 予算（案）について
②令和5年度 研修概要の報告及び決算見込みについて報告
③障害者支援施設部会 全国大会 広島大会 第2回 実行委員会

開催方法：対面（広島市南区役所 別館）

出席者：26人/40人

※その他 全国大会 実行委員会 企画会議 業者打合せなど

2. 研修会

【第9回保健衛生・給食担当職員研修会】

時 期：令和5年9月20日

内 容：①講演 「高齢化と食・栄養支援」

講師 木村要子先生 広島県栄養士会 会長

広島国際大学 健康科学部 医療栄養学科 客員教授

②講演 「障害者支援施設における運動機能訓練の理論と実践」

講師 金尾亮兵先生 理学療法士

特定医療法人 財団竹政会 セントラル病院

開催方法：対面 まなびの館ローズコム

参加者 : 62人

【第9回支援施設部会セミナー】

時 期：令和5年11月24日

内 容： ①講演 「支援施設における障害者虐待防止及び身体拘束の適正化に向けて」

講師 広島大学名誉教授 横藤田 誠先生

②シンポジウム

身体拘束適正化における事例報告 (3事業所)

開催方法：対面 東広島芸術文化ホール

参加者 : 73人

事業総括

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、徐々に日常を取り戻しつつも、慎重な対応を継続した年度となった。しかしながら、クラスター等は繰り返され、感染症への対策については、継続した課題を残している。

この中で、障害者総合支援法改正法の施行後3年等を踏まえた見直しが行われた。入所者の地域生活に対する意向確認など、利用者の意思決定への対応などが明確に打ち出された。また、障害者支援施設が発揮する専門性として、強度行動障害を有する方への対応、高齢、重度化への健康管理、医療体制の充実などが掲げられている。

令和6年度は、それらに対する、丁寧な環境作りのための準備期間として重要な期間となる。人財育成とともに、人財獲得の課題に対しても、様々な対策、工夫を講じながら、部会としての共有を図りたい。

■ 日中活動支援部会

方針：長引く新型コロナウイルス感染症の流行によって事業や活動に制限もある中、日中活動支援部会事業所内でも日課や行事など、苦渋の選択を迫られる場面も続いている。そんな中ではあるが、感染対策を行いながらある一定の方針、方策のもとで「ウイズコロナ」の観点から改めて一人ひとりの思いに沿った支援や社会生活の場の提供を意識する年にしていきたい。
利用者への権利擁護の意識を高め、コロナ禍による日課の脱マンネリ化やQOLの向上を目指し、研修は基本的には対面方式で実施していき、事業所間の情報発信や情報共有の場を設定し、課題を共有していく。

1. 日中活動支援部会 施設長・管理者会議

【第1回】

時 期：令和5年6月27日

内 容：①令和5年度事業計画の確認・進め方
②研修会について
③中国地区正副部会長会議報告
④要望書について
⑤意見（情報）交換

会 場：広島市南区地域福祉センター

出席者：16人

【第2回】

時 期：令和6年1月26日

内 容：①新年度運営について
②研修会について
③中国地区正副部会長会議報告
④意見（情報）交換

会 場：広島県健康福祉センター

出席者：14人

2. 職員研修会

【第1回】

時 期：令和5年7月18日

内 容：「ビジネスマナースキルアップ実践セミナー」

主催 公益社団法人広島県就労振興センター

共催 生産活動・就労支援部会 日中活動支援部会

会 場：福山市生涯学習プラザ

参加者：19人

【第2回】

時 期：令和5年9月7日

内 容：「現場での日課支援や生活支援の取り組み(レクリエーション)」

会 場：広島県社会福祉会館

参加者：11人

事業総括

令和5年度も長引く感染症対策等の影響でコロナ禍以前の事業所運営の水準に回復もしくは体制変更を余儀なくなれた事業所も多い中ではあったが、要望の多かった研修を開催し、事業所間の情報共有の場を設定することができた。今後も会員同士の親睦を図りながら利用者の生活の質を高めるためにもより具体的かつ継続的に取り組む研修を行っていききたい。また、福祉従事者が魅力ある職場環境改善につなげられるよう、集合型での情報共有の場を重ねていきたい。

■生産活動・就労支援部会

方針：ウイズコロナにシフトした中、感染症に影響されない生産活動及び一般市場で通用する商品の創出及び営業・販売力の強化に努める。

引き続き農・水・林福連携にも取り組み、連携実績のある事業所の情報共有をするとともに、企業を含む地域とのコラボレーションにより相互利益をもたらす活動を実施していく。

1. 生産活動・就労支援部会施設長会議

【第1回】

時 期：令和5年7月5日

内 容：①令和4年度事業報告について
②令和5年度事業計画確認
③各事業所の取り組み状況
④令和5年度研修内容について協議
⑤情報・意見交換

開催方法：ハイブリッド開催

出席者：24人

【第2回】

時 期：令和6年2月14日

内 容：①令和6年度事業計画について
②令和5年度事業報告について
②作業所紹介・自主製品紹介
③情報・意見交換

開催方法：ハイブリッド開催

出席者：19人

2. 職員研修会

【第1回】 ビジネスマナー研修（広島県就労振興センターとの共催）

開催月：令和5年7月18日

内 容：『ビジネスマナースキルアップ実践セミナー』
講師 Morita キャリアプランニング 代表 森田ひとみ 氏

場 所：福山生涯学習プラザ

参加者：17人

【第2回】 インボイス制度の基礎、請求書作成等の実務について (広島県就労振興センターとの共催)

開催月：令和5年9月8日

内 容：①インボイスの基礎
②インボイスの実務

場 所：広島県社会福祉会館
参加事業所：10 事業所

事業総括

アフターコロナ後、イベント参加や地域との協働等をはじめ、魅力的な商品開発など、様々な取り組みにより、売上増加及び工賃向上を達成された事業所が増えた。若手職員を中心としたビジネスマナー研修を継続実施し、就労支援では必要不可欠となるビジネスマナーの基本スキル習得に努めた。

部会会議は希望者が多いこともありハイブリッド形式で開催し、Web 事業所見学も継続実施、参加事業所間の取り組みや課題等について情報共有及び活発な意見交換を行うことが出来、連携強化につながった。

■地域支援部会

方針：令和5年度は、3年間悩まされ続けてきた新型コロナウイルスが、インフルエンザ同様の第5類感染症に入ることで、地域生活においてマスクや消毒、行動制限等々多くの感染症対策を強いられてきたことが少しずつ緩和され、普通の日常生活に戻れるという期待をしている。

地域支援部会では、10月に第34回全国グループホーム等研修会をここ広島で開催予定である。3年ぶりの対面集合型を予定しており、多くの方に広島に来ていただけることを期待している。

研修会では「地域支援」を大会テーマとして、シンポジウムや分科会等を予定している。分科会では、意思決定支援や高齢化・重度化への対応、自律に向けた支援、そしてホームの自慢レシピ等を紹介する分科会も予定している。

部会としては、全国大会に向けての準備や打合せを進めていきたい。

また、この大会を成功させるために、皆様のご協力をお願いしたい。

1. 部会議の開催

【第1回 地域支援部会施設長会議】

時 期：令和5年5月30日 14時から16時

内 容：①新部会員紹介

②令和5年度事業計画の確認

③令和5年度 第34回全国グループホーム等研修会

中国地区大会 in ひろしまについて

開催方法：対面集合

出席者：12人

【第2回 地域支援部会施設長会議】

時 期：令和5年12月14日 14時から16時

内 容：①令和5年度 第34回全国グループホーム等研修会

中国地区大会 in ひろしま報告

②令和5年度 第2回部会報告

③今年度の部会研修会について

開催方法：対面集合

出席者：15人

【第3回 地域支援部会施設長会議】

時 期：令和6年2月6日 10時から12時

内 容：①令和5年度事業総括について

- ②令和6年度事業計画について
- ③次期役員について
(任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日)
- ④支援スタッフ部会への推薦について

開催方法：対面集合

出席者：15人

2. 第34回全国グループホーム等研修会実行委員会の開催

【第1回 実行委員会】

時期：令和5年7月12日 14時から16時

- 内容：①実行委員会立ち上げ及び自己紹介
②大会要綱の確認及び進捗状況報告
③応援スタッフの役割及びスケジュール確認
④第2回以降の実行委員会日程及び内容について

開催方法：対面集合

出席者：18人

【第2回 実行委員会】

時期：令和5年8月28日 13時から16時

内容：①会場打合せ

開催方法：広島国際会議場

出席者：22人+旅行代理店2人+業者5人

【第3回 実行委員会】

時期：令和5年9月27日 14時から16時

内容：大会へ向けての最終打合せ

開催方法：対面集合

出席者：22人

3. 第34回 全国グループホーム等研修会 中国地区 広島大会

時期：令和5年10月3日～4日

会場：広島国際会議場

テーマ：「これまでの地域支援 これからの地域支援」

～みんなが主役！ずっと笑顔で暮らせる地域づくりを！～

開催方法：対面集合

参加者：628人

実行委員：24人

4. 中国地区地域支援部会代表者会議の開催

【第1回 中国地区地域支援部会代表者会議】

時 期：令和5年6月20日 14時から16時

内 容：①第34回全国グループホーム等研修会 分科会会場打合せ

開催方法：広島国際会議場

出席者：5人+旅行代理店1人+業者3人

【分科会打合せ】

第1分科会：Web会議3回（4月、7月、9月）

第2分科会：Web会議3回（4月、7月、9月）

第3分科会：Web会議3回（4月、7月、9月）

第4分科会：Web会議4回（4月、6月、8月、9月）、会場打合せ（9月）

事業総括

令和5年度は第34回全国グループホーム等研修会中国地区大会 in ひろしまの開催に向けて準備した1年であった。

短い準備期間の中、無事に大会を終える事が出来たことは、実行委員を中心に県内から多くのスタッフにご協力をいただいた賜物だと感謝している。また、発表等、ステージに登壇して下さった皆様にも感謝を申し上げたい。

シンポジウムや分科会において、全国のグループホームが抱えている課題について、共通認識されたことも大きな収穫であったと考える。

そんな中、分科会においても報告のあった、虐待事案が全国で後を絶たないのは悲しい事実である。これを単なる人手不足のせいにするのではなく、専門性の高い研修・教育と実践の積み重ねを行い、入居者一人ひとりの想いを聴ける職員の人材育成を進めることが急務だと考える。

令和6年度の報酬改定によって、少しでも「ご本人が望む暮らしの実現」に向けた支援が滞りなくつながるようになる事を期待するとともに、地域支援部会としての取組みを行いたい。

■相談支援部会

方針：令和5年度は、定例会として2か月に一度部会の開催を予定しています。

内容は、令和6年度の障害者総合支援法改正法の3年後の見直しと報酬改定内容を注視し、相談支援関連の制度の確認等を中心に行い、相談支援部会内で研修会等を開催します。また、相談支援の質の向上と相談支援専門員のスキルアップを各地域の課題、個別の事例等を題材としてとして、事例検討やグループスーパービジョンの実践及び相談支援に関する勉強会を行う予定としています。

現在は14事業所に加盟していただいておりますが、相談支援専門員の皆様の各地域での相談支援にお役に立てるものと考えておりますので、是非、相談支援部会に、ご入会していただきますようお願い致します。

1. 相談支援部会定例会議

【第1回】

時 期：令和5年6月8日

内 容：①中央情勢報告

②報酬改定に向けて、相談支援からの要望事項に係る意見交換

③各地区の情報提供、共有及び意見交換

開催方法：対面及びWeb（Zoom）のハイブリット開催

出席者：27人

【第2回】

時 期：令和5年8月30日

内 容：①報酬改定に係る厚生労働省と日本知的障害福祉協会との団体ヒアリング内容の確認と報告

②各地区の情報提供、共有及び意見交換

③その他報告事項

開催方法：対面及びWeb（Zoom）のハイブリット開催

出席者：26人

【第3回】

時 期：令和5年10月13日

内 容：①令和6年度、相談支援主催研修開催に向けて協議・検討

②各地区の情報提供、共有及び意見交換

開催方法：対面及びWeb（Zoom）のハイブリット開催

出席者：26人

【第4回】

時 期：令和5年12月8日

内 容：①令和6年度、相談支援主催研修開催に向けて協議・検討
②改正総合支援法、報酬改定の方向性の内容把握と共有
③令和6年度役員改選について
④各地区の情報提供、共有及び意見交換

開催方法：対面及びWeb（Zoom）のハイブリット開催

出席者：21人

2. 部会研修会

①時 期：令和5年6月8日

内 容：「相談支援事業所が作成する事業継続計画（BCP）に必要な内容について」

進行 障害者相談支援事業所リガーレ 一丸善樹 氏

開催方法：対面及びWeb（Zoom）のハイブリット開催

参加者：27人

②時 期：令和5年10月13日

内 容：「改正総合支援法、報酬改定を見据えた、相談支援体制と役割と連携について（相談支援事業の手引き案を参考に考える）」

進行 障害者相談支援事業所リガーレ 一丸善樹 氏

開催方法：対面及びWeb（Zoom）のハイブリット開催

参加者：26人

事業総括

年間6回の部会を予定していたが、様々な事情により4回の開催となった。内容は、改正総合支援法と報酬改定の方向性の確認と共有を図りながら、現状の課題を出し合い、中国地区からの次期報酬改定に向けた要望に繋げた。

部会研修では、改正総合支援法や報酬改定から見える相談支援の役割と連携の在り方や事業継続計画（BCP）の相談支援固有の盛り込むべき内容等の研修会を実施するなど効果的な実施ができたと思うが、部会の中では事例や相談支援専門員としての悩み等の意見交換等はできたが、事例検討やスーパービジョンという形ではできなかったことが課題として挙げられます。

また、来年度は、コロナ前に実施していた県内の相談支援専門員を対象とした部会主催の研修を企画し実施することになったため、研修時期や内容等については、次年度早々に協議し、できるだけ早い時期に開催できるように取り組みたいと考えています。

■支援スタッフ部会

方針: 知的な障害のある方々に、最も身近で支援に関わる私たち支援スタッフは、サービス提供における必要な視点をお互いに確認しながら、研修会や情報交換を定期的に行い、資質の向上に努める。

コロナ禍において各施設課題は様々であるが、共通した課題も多くあり、活発な意見交換で課題解決の糸口になる活動が出来ていることも本部会の強みである。

正副部長を中心に都度研修項目を設定し、全国でも重点項目にあがっている意思決定支援や、虐待・身体拘束への取り組みなどを盛り込みながら、より見識を深め実践に移していけるような活動に努める。

1. 支援スタッフ部会議

【第1回】

時 期：令和5年6月23日

場 所：東広島芸術文化ホール「くらら」研修室

内 容：部会研修会(グループワーク)

出席者：40人

【福山・府中圏域】

時 期：令和5年10月5日

内 容：圏域研修会(ボッチャ体験・情報交換会)

場 所：瀬戸コミュニティセンター

講 師：福山市レクリエーション協会副会長 佐藤秀信 氏

出席者：16人 講師1人

【広島・広島西・備北圏域】

時 期：令和5年10月6日

内 容：圏域研修会(施設見学・高齢化について座談会)

場 所：庄原さくら学園

出席者：12人

【尾三圏域】

時 期：令和6年10月19日

内 容：圏域研修会(施設見学)

場 所：平成会・西の池学園

出席者：8名

【広島中央・呉圏域】

時 期：令和5年12月1日
内 容：圏域研修会(施設見学)
場 所：平成会・西の池学園
出席者：7人

【福山・府中圏域】

時 期：令和6年2月19日
内 容：圏域研修会(草笛学園施設見学・情報交換会)
場 所：瀬戸コミュニティセンター
出席者：24人

【第2回】

時 期：令和6年2月26日
場 所：東広島芸術文化ホール「くらら」研修室
内 容：部会研修会・総会(グループワーク)
出席者：30人

事業総括

3年ぶりの対面開催がスタートし、各圏域の副部会長が独自の研修を企画し活発な研修会を行なえた1年であったと感じています。

事業種別での個々の課題、共通の課題について議論を深め、参考になる取組みを目にするなど、オンライン研修では成せなかった部会活動となり、部会員からも充実した研修会だったとの声が多かった。

この熱量が本部会の核であり、次年度も引き続き支援向上、スキルアップを念頭に活動し、次世代への人材育成に関わるような体制作りを目標にした

い。

業務部会

■政策・調査・研究部会

方針：日本知的障害者福祉協会政策委員会ならびに県内各部会・委員会等との連携のもと、令和6年度障害福祉サービス等報酬改定に際し必要な対応を行う。次期報酬改定に向けて現行報酬体系の課題分析とともに要望事項の確認やエビデンスの収集等を行い、今後の政策研究・政策提言等の基礎資料に資する。

また、中国地区5県の政策委員会との連携強化を図り定期的な情報共有に努める。

新型コロナウイルス感染症の感染予防策や助成、検査体制・ワクチン接種などの課題については、必要に応じアンケートの実施や分析等を実施し政策要望や提言などにも寄与する。

1. 「令和5年度広島県予算・政策要望」取りまとめ

時期：令和5年7月

内容：広島県への予算・政策要望

会場：Web会議

2. 政策・調査・研究部会委員会

【第1回】

時期：令和5年12月

内容：①障害福祉サービス等報酬改定について

②令和5年度セミナーについて

会場：広島市南区役所別館

【第2回】

時期：令和6年3月

内容：令和6年度事業計画（案）について

会場：Web会議

3. 研修会

時期：令和6年2月28日

会場：TKP ガーデンシティPREMIUM 広島駅前

内容：「令和5年度広島県知的障害者福祉協会 政策調査研修部会セミナー」

講師：日本知的障害者福祉協会政策委員会 副委員長 白石孝之氏

演題「中央情勢報告～令和6年度報酬改定に向けての現状と課題」

参加者：65人

事業総括

令和6年度障害福祉サービス等報酬改定令和6年度において障害福祉サービス等の報酬改定が行われ、障害福祉サービス等報酬改定検討チームが「基本的な方向性」(令和5年12月6日)をまとめ、12月20日には改定率プラス1.12%が示された。今回の報酬改定は、コロナ禍で蓄積された課題とともに、物価高騰対策や賃上げをはじめとする人材確保といった喫緊の経営課題への対応が重要となった。また、令和5年度より「こども家庭庁」の創設をはじめ「こども基本法」の施行など、障害のある子どもたちを取り巻く環境もパラダイムの転換点を迎えた。

他方、令和9年度の次期報酬改定に向けて積み残された課題と未来について、特に近未来の労働社会の最大の課題である「労働供給制約」は単なる人手不足論ではなく、人口動態に起因した構造的な労働供給不足が予測されている。中国地区の5県の各政策委員との定期的な情報共有や課題分析など連携強化を図っていきたい。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の取り扱いも5月には5類相当へ変更され、withコロナへ大きく舵を切ろうとしている。今後も感染対策やワクチン接種への対応等を行いつつ良質なサービスの安定提供に努めていく必要がある。また、対面での部会や研修会も状況に応じて行い会員間の連携を図っていく必要がある。

■人権・倫理部会

方針：虐待防止や身体拘束適正化に対する取り組み強化が求められる中、各施設・事業所がきちんと対応し、利用者の権利擁護の取り組みを行うためには、施設・事業所職員個々の意識・資質の向上と組織としての対応が不可欠であり、そのための研修会開催や課題分析と解決のための取り組み等を行っていく。

また、関係諸機関と連携・協力を図りながら、人権擁護思想の普及・啓発、障害者虐待防止法・障害者差別解消法の普及・徹底に努め、障害者に対する差別や偏見のない「共生社会」の実現に向けて取り組む。

1. 人権研修会

期 日：令和6年3月5日

会 場：福山市市民参画センター

内 容：講義・演習「あなたはなぜ虐待をしないのか？」

講 師：国澤宗厳 氏（障害者支援施設ひかり苑 施設長）

参加者：16人

2. 出前講座（講師派遣）

内 容：会員施設・事業所職員の人権に対する意識の向上を図ることを目的に、出前講座登録講師を依頼（申し込み）のあった施設・事業所に派遣した（1事業所、1月）。

3. 人材育成・研修部会の研修会を共催

(1) 強度行動障害支援フォローアップ研修

(2) 研修「改めて、ダウン症について学ぶ。その特性と支援」

事業総括

研修会開催を中心に虐待防止・権利擁護のための取り組みを行った。人権研修会は、SOUNDカードを使ったグループシェアを中心にチームとしての虐待防止について学んだが、とても内容の濃い研修となった。

また、特性に合わせた支援を学ぶことで、不適切な支援や虐待を防止することにつながるとの観点から、人材育成・研修部会主催の強度行動障害やダウン症の研修に共催として携わった。

虐待防止・身体拘束適正化の取り組み状況については、次年度に意思決定支援の取り組み状況と合わせて調査等を行っていきたい。

■人材育成・研修部会

方針：福祉サービスの担い手である職員に、サービス提供に必要な知識、技術を身につける場や横のつながりを構築する場を設ける。また、障がいのある方たちの安心と暮らしや人間としての尊厳が守られ、豊かな人生を自己実現できるよう支援するための研修を企画実施する。強度行動障害支援者養成研修は実行委員会を設けて行う。

1. 人材育成・研修部会会議

【第1回】時 期：令和5年5月12日

【第2回】時 期：令和5年9月6日

【第3回】時 期：令和5年9月27日

【第4回】時 期：令和6年1月26日

2. 強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）

時 期：令和5年11月16日・17日

講 師：広島県手をつなぐ育成会 善川夏美 氏
高橋京子 氏

広島県知的障害者福祉協会会員施設の職員

場 所：広島県健康福祉センター

受 講 者：51人（会員46人、非会員5人）

3. 強度行動障害支援者養成研修（実践研修）

時 期：令和5年12月11日・12日

講 師：松田病院 松田文雄 氏

広島県知的障害者福祉協会会員施設の職員

場 所：広島市東区地域福祉センター

受 講 者：36人（会員31人、非会員5人）

4. 第11回元気をはぐくむ新任職員基礎講座

時 期：令和5年8月18日

内 容：実践発表【発表者】

児 童 太田川学園：児童部 原戸晋之介 氏

就 労 宮領デイセンター 林康介 氏

生 活 友和の里：通所部 永見貴一 氏

支援施設 中国芸南学園：第1 成人部 尾添友香 氏

地域生活 「ゼノ」ホームなごみ 鈴木摩耶 氏

「あび王国へようこそ」

グループワーク チームビルド

基礎講座

演題：社会福祉施設で働く職員としての心構えと実践

講師：社会福祉法人 若葉 相談役 副島宏克 氏

開催場所：育成会総合福祉センター

受講者：46人

5. ダウン症について学ぶ研修会

時期：令和5年2月18日・19日

内容：ダウン症

講師：菅野敦 氏

場所：広島県社会福祉会館

受講者：47人

6. 強度行動障害支援者

養成研修（フォローアップ研修）

時期：令和5年1月24日・2月28日

内容：

第1回

○講義・演習「行動障害支援について」（基礎・実践研修のおさらい+α）

進行：発達障害者サポートセンター未来図 施設長 木村博文 氏

第2回

○実践報告（グループ演習）

各施設・事業所での実践をグループで発表し、意見交換等を行います。

○講演

演題：『行動障害支援の基本』

講師：広島県発達障害者支援センター 地域支援マネジャー 吉元一峰 氏

場所：第1回広島市東区地域福祉センター

第2回広島市西区地域福祉センター

受講者：15人

7. サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者フォローアップ研修

時期：令和5年11月24日・令和6年1月26日

内容：①「サービス管理責任者フォローアップ研修の目的」について
（知的障害者に特化した研修の趣旨説明）

講演者 広島県知的障害者福祉協会 会長 米川 晃 氏

②個別支援計画について課題・事例の整理検討

（ニーズの捉え方・サービス提供の自己検証）

～インシデント・プロセス法を活用し問題解決力を高める～

自職場等において現在取り組んでいる困難事例（各事業所で実際に使用している計画書）を持ち寄り、1グループ1事例を選択し、各グループで協議。

- 1) 問題解決のプロセス管理として、インシデント・プロセス法を活用し問題解決力を高める～模擬モニタリング（ケース）会議の開催。
- 2) チームアプローチ・多職種連携に着眼。

講師 広島県知的障害者福祉協会 人材育成研修部会

- ③ 膠着状態が続く課題や困難事例を解決するための実践力を身につける（行動療法を用い、「変化を作る」方法を学ぶ）
- テーマ 人権擁護（虐待防止）、質の高い利用者への支援、問題解決能力の習得、人材の育成と意欲向上、組織力の向上、信頼関係の関係構築

講師 公認心理士 森分 隆 氏

場 所：広島市東区地域福祉センター

受講者：15人

8. 広島県社会福祉協議会 社会福祉研修センター運営委員会へ出席

時 期：令和6年2月5日

内 容：令和5年度社会福祉従事者研修の実施状況

令和6年度社会福祉従事者研修の計画（案）等

事業総括

計画した研修は全て実施が出来た。また全て集合型研修で行ったことで、グループワーク等参加者間でのコミュニケーションが活発になっていた。

又、現場で働く職員の職場定着と育成を目指し、元気をはぐくむ新任研修基礎講座や強度行動障害支援者養成研修並びにダウン症研修を継続して取り組んでいる。他の事業所における取組みを学び、専門職として自覚や誇りを持ち続けてもらいたい。サービスの中核を担う人材育成として、新たにサービス管理責任者等研修を実施し、回答者全員から「事業所で活かせる内容であった」と評価を頂いた。

■ 事業部会

方針：スポーツの部

スポーツを通して障がいのある人たちの健康増進と交流を目的とし、各種スポーツ大会を開催する。

広島県パラスポーツ協会との連携を図る。

広島県知的障害者ソフトボール協会の運営に協力する。

計画：スポーツの部

地区委員 西部：光清学園 中部：六方学園 東部：一れつ会

1. 広島県障害者陸上競技大会

(1) 第17回広島県障害者陸上競技大会 第2回 実行委員会

時期 令和5年4月25日

場所 広島YMCA国際文化センター 会議室

内容 競技種目及び参加選手状況

大会及び競技の進め方等についての協議

(2) 第17回広島県障害者陸上競技大会

時期 令和5年5月14日

場所 東広島運動公園 陸上競技場

(3) 第17回広島県障害者陸上競技大会 第3回 実行委員会

時期 令和5年5月30日

場所 広島YMCA国際文化センター 会議室

内容 反省会及び全国障害者スポーツ大会についての協議

(4) 第18回広島県障害者陸上競技大会 第1回 実行委員会

時期 令和6年2月6日

場所 広島YMCA国際文化センター 会議室

内容 実施要項(案)、収支予算(案)について

2. 特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」

(1) 特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」

ソフトボール競技中国・四国ブロック予選会

時期 令和5年5月27日～28日

場所 香川県丸亀市 丸亀土器川公園

参加者 15人

結果 優勝

- (2) 特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」への参加
時期 令和5年10月28日(土)～10月30日(月)
場所 白波スタジアム(鹿児島県立鴨池陸上競技場)ほか
ソフトボール競技 3位

3. 知的障害関係施設親善球技大会(3ブロック)の実施

西部地区：令和5年6月4日 広島修道大学 体育館、グラウンド
中部地区： 中止
東部地区： 中止

4. 第60回中国地区知的障害関係施設親善球技大会「山口大会」

時期 令和5年9月24日
場所 維新百年記念公園、ボウリング王国スポーツ小郡

5. ボウリンピック 東広島

時期 令和5年12月2日
場所 賀茂ボール

事業総括

広島県障害者陸上競技大会、ソフトボール競技中国・四国ブロック予選会などの開催に参画しました。

知的障害関係施設親善球技大会について、西部地区のみ実施した。

西部地区大会は、もともと他地区より小規模大会であるので、午前のみの実施で開催できた。中部地区、東部地区ともに、開催に向けて取り組みを進めていた中での中止であったことは、次年度以降の開催につながるものなので、当協会関係施設・事業所の役職員皆様のご尽力に感謝いたします。

中国地区知的障害関係施設親善球技大会「山口大会」については、1施設の参加があった。コロナ感染症の影響が続く中で、選手派遣(募集)が難しい状況であった。次年度以降の大会に、多くの選手派遣をよろしく願います。

■ 事業部会

方針：文化・芸術活動の部

障害のある人たちの文化・芸術の振興を図るために、会員事業所から生まれる障害のある人たちの作品や様々な活動を紹介し、このことに携わる会員スタッフ（専門支援者）の育成を図る。また、広島県主催の「あいサポート・アート展」「あいサポートふれあいコンサート」開催に参画する。

障害のある人たちの権利擁護と会員の資質向上を目的に発刊してきた「心に残るちょっといい話」の続けての刊行をめざす。

計画：文化・芸術活動の部

1. 作品展開催に向けて

(1) 令和5年度 作品展開催に向けて実行委員会開催

第1回	実行委員会	令和5年	4月24日	web会議
第2回	実行委員会		6月20日	web会議
第3回	実行委員会		8月8日	web会議
第4回	実行委員会		9月25日	web会議
第5回	実行委員会		12月4日	対面会議

(2) 令和6年度 作品展開催に向けて実行委員会開催

第6回	実行委員会	令和6年	2月5日	web会議
-----	-------	------	------	-------

内容：令和5年度事業報告と令和6年度事業計画

(3) 作品展・展覧会

開催せず、令和6年3月4日 事例報告会を対面開催

2. 広島県主催の「あいサポートアート展」作品審査、作品展示作業協力、作品展会場係及び「あいサポートふれあいコンサート」開催に協力・参加

(1) あいサポートアート展

広島、福山会場

作品展示作業協力、アート展会場係として、協力・参加

(2) あいサポートふれあいコンサート

令和5年9月24日 広島市安佐南区民文化センター

3. 「心に残るちょっといい話」第11集の発行

部会員で編集などについて協議することができず、未発行

事業総括

作品展開催に向けて web 会議を4回、対面会議を2回開催、情報交換、事例報告会などを実施した。

web 会議の中で、他施設見学など実施した委員の中から「福祉業界内外の人たちが集まり、いろいろな話ができたとの報告を受け、コロナの影響で対面で話し合う機会が少なくなった状況が続いているので、今年度は作品展開催という形をとらず、生活支援における様々な取り組み事例を持ち寄り、事例報告会を実施することになる。事例報告会では、実行委員会のメンバーだけでなく、広島県アートサポートセンターの職員などの参加もあり、様々な仕方で日常生活を豊かにする文化・芸術的な取り組みの発表があった。

広島県主催のあいサポートアート展では、30人以上の役職員が受付・展示作業などに協力・参加があった。あいサポートふれあいコンサートでは、出演団体5団体、約160人の来場者（出演者・関係者含め）があった。広島市での開催であったので、広島市職員の協力も得て開催することができた。

以上のように、コロナ感染症の影響が続く中ではあったが、実行委員だけでなく施設・事業所の役職員ほかの協力関係は大きく、このことは事業部会が取り組んできた成果であるので、次年度以降も文化・芸術の部においては、より一層、当協会での事業活動、他団体などとの協力活動に尽力していきます。

「心に残るちょっといい話」第11集の発行については、取り組めていない状況が続いているので、事業部会の役員理事で協議し、当協会役員会に企画立案の提案ができるよう取り組みたいと考えます。各施設・事業所の役職員の皆様からの「心に残るちょっといい話」を是非、お願いします。

■総務部会

方針：広島県知的障害者福祉協会の会員施設・事業所への情報発信と会員相互の情報共有を有効にすすめるためのツールとして、ホームページを活用する。また、各支援部会や各福祉圏域内の情報や意見交換にウェブやオンラインの活用も検討していただき、コロナ禍においても推進できるように予算管理や調整を図る。

さらに会員施設の各活動の推進として、必要に応じて広島県主催の行事等において役割を担い、有益性のある情報発信に努める。

*令和5年度は、2類から5類に移行したことを受けて、少しずつ以前の活動に近づけていくことができた。

1. 総務部会

年度当初に事業計画の確認を行う

2. 広島県主催の行事等への参加

*「ふれあいコンサート」実行委員会に参加し、開催の企画、準備、当日運営等に携わった

3. 圏域会議の推進

(福山・府中圏域)

期 日：令和5年5月25日 (Web会議)

内 容：圏域の取り組みについて (研修会の検討、情報共有)

期 日：令和5年12月27日 (Web会議)

内 容：圏域の取り組みについて (研修会の検討、役員改選、情報共有)

期 日：令和6年3月4日

会 場：福山市民参画センター

内 容：職員研修

(広島中央圏域)

期 日：令和6年2月26日 (月)

会 場：広島東芸術文化ホールくらら

内 容：役員改選、報酬改定等の情報交換

(広島圏域・広島西圏域)

期 日：令和6年2月7日

会 場：広島県社会福祉会館2階第1、第2会議室

内 容：来年度の西部地区親善球技大会実施に向けて
役員改選、報酬改定、人財不足等の情報交換

事業総括

- * ホームページは、各部会の活動報告や研修案内等を随時掲載するようになっている。
- * ふれあいコンサートが、令和5年度は広島市で開催され、参加者団体は大きく増えてはいないが、障害のある人たちの文化、パフォーマンスの場、機会として位置づいてきた。
- * 圏域会議の開催は、Web 会議で実施されたり、来年度が役員改選の年にあたることもあり、各圏域において対面の会議も行われた。
- * 引き続き感染予防に注意しながら、コロナ禍前の活動が少しずつ復活されてきた。